

Price Action

2015/11/15 CMA東京勉強会
2015/11/22 CMA大阪勉強会

自己紹介

- ▶ ハンドルネーム : Tornado
- ▶ FX暦 : 約7年 (兼業トレーダ)
- ▶ チャートマスター (優樹塾)
- ▶ チーム西荻 (チームリーダ) : 2年
- ▶ FXスクール : エリオット etc (2年)
- ▶ サイクル理論 : セミナー、DVD
- ▶ 相場の本質 : DVD
- ▶ 某テクニカルスクール : エリオット/FIB (3年)
- ▶ CMA : サポート (講師活動・・・)

トレードスタイル

- ▶ スイング分析(日足/4時間)
- ▶ ダウ理論、トレンドライン、サポレジ
- ▶ FIB
- ▶ チャートパターン
- ▶ ダイバージェンス(RSI/MACD)
- ▶ Hiddenダイバージェンス(RSI)
- ▶ エリオット波動+サイクル(RSI)
- ▶ システムトレード(TRB/LTS) →マイルール

【目的】

相場の本質を理解して、

- ・トレードの精度向上を目指す
- ・マイルールの確立(トレードスタイル)

【プライスアクション】

- ▶ 優位性のあるエントリーポイントとタイミングを見つける(ローソク足、サポレジ、ダイバージェンス)
- ▶ 相場でのトレーダの心理、仕掛けポイントをトレード戦略に取り込む
- ▶ 相場のパターンは繰り返し発生するため、プライスアクションの優位性は継続される

トレードスタイル/マイルール

【トレードスタイルと時間足の選択】

- ▶ 自分のライフスタイルに適した時間足、トレードルールを見つける

[例] 日足→1日1回、4時間→4時間に1回

※兼業で取り組むなら、これくらいが限度

[自分] 日足、4時間で分析して、

※サポレジやチャートパターンで1時間、15分で見ると

- ▶ トレードを自分のライフスタイルの中に無理しないで、取り組める習慣を身に付ける

ライフスタイル

- ▶ トレードは「心」「技」「体」揃わないとやらないくらいのスタンスで臨む
- ▶ 相場だけに時間捕らわれないように心がける
(短期集中では取組ことも必要→3~4ヶ月)
- ▶ 例えば、週末に相場分析して、翌週からのトレードシナリオを作成する
- ▶ 朝、又は夜に相場チェック
(シナリオの見直し、チャンスがあればトレード)
- ▶ トレード時間を限定する(例:21-24)
 - チャートが動くときに向き合う時間も必要
 - でも、最初は学習に時間をかける方に比重をおく
(学習しないで、勝ててる:①天才②運が良い →そのうち破綻)

【トレードの根拠】

～相場分析とシナリオ作成の重要性の認識～

相場の背景を読み取り、有効に機能するポイントでプライスアクションを使う

▶ 相場環境の認識(分析)

:トレンド(アプトrend/ダウntrend)、レンジ

:チャネル、サポレジのブレイクアウト

▶ サポート&レジスタンス(サポレジ)

:意識されているポイント(次ページで詳細説明)

▶ チャートから読み取れるシナリオ

:チャートパターン

(フラッグ、ヘッド&ショルダー、ダブルトップ/ボトムetc)

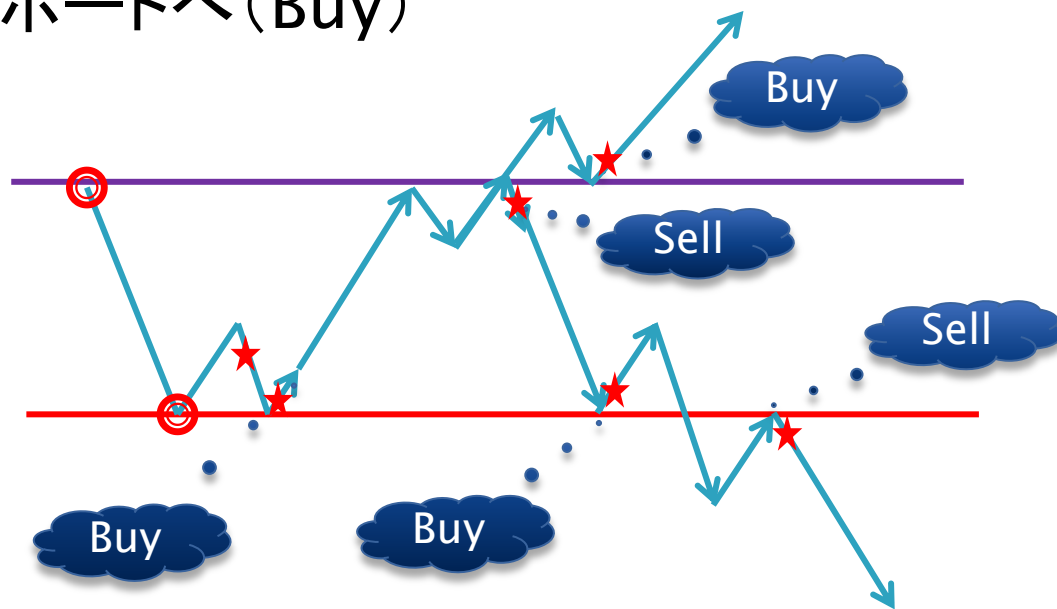
▶ ローソク足のパターン(PB/EB/IB/RV)

エッジ(有効性)のあるポイントでトレードすることが重要

サポート&レジスタンス

【売買戦略】サポレジの有効性(背景/活用)

- ▶ サポート&レジスタンス
 - サポートライン(Buy)
 - レジスタンスライン(Sell)
- ▶ サポレジのブレイクが持つ意味
 - サポートからレジスタンスへ(Sell)
 - レジスタンスからサポートへ(Buy)



【サポレジの有効性の意味/背景②】

▶ サポートがブレイクしたときに何が起きているか？

①買っている人は損切り

②ロスカットしないで持ち続ける参加者もいる

このときに②の参加者は何を考えているか？

- ・買値まで戻ってくれないかな？と待つ
- ・買値に戻ってきた

このときに含み損を抱えた参加者は何を考えるか？

- 建値で撤退(売り)
- 売りを新規に仕掛けてくる参加者もいる

※結果的に買う人よりも売る人が多くなるために、下落する
※サポートラインがレジスタンスラインに役割が変わる

【サポレジの見つけ方】

- ▶ 何度もサポート、レジスタンスとして機能しているポイントを見つける

※ 主要な高値と安値

→ 時間足が大きいほど信頼性が高い(日足、4時間)

- ▶ フィボナッチ (FIB)

※ スイング波形の大きな流れと内部スイング波形でそれぞれFIBを引いて、重なるポイント

→ エリオットの波形(基本)とフラクタル構造(38.2/50/61.8 etc)を見つける

- ▶ ラウンドナンバー

※ 区切りとなるプライスに注目

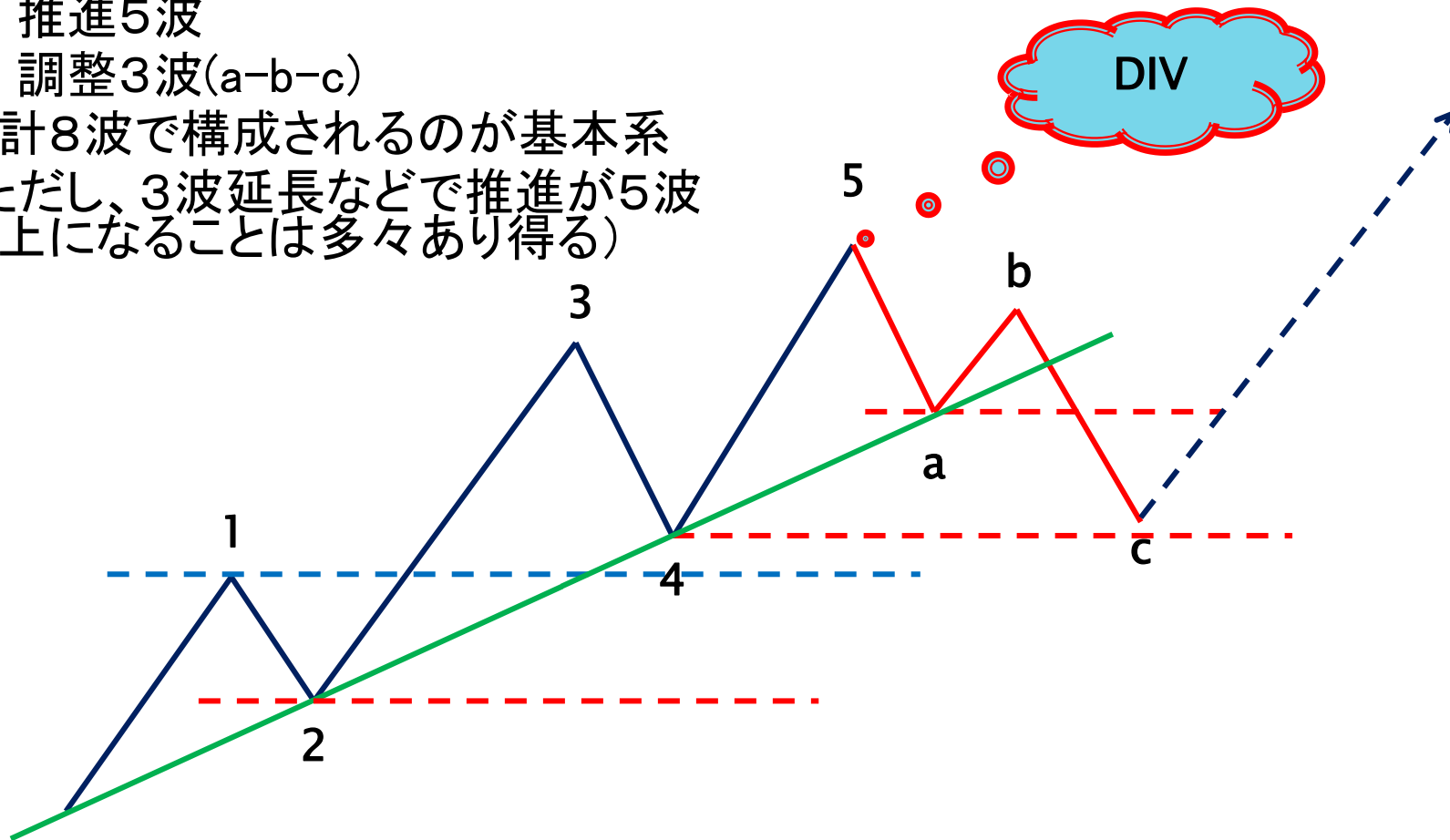
例) ユーロドル: 1.10、1.13

ドル円: 120.0、119.0

エリオット波動(基本構造)

- ▶ 推進5波
- ▶ 調整3波(a-b-c)

合計8波で構成されるのが基本系
(ただし、3波延長などで推進が5波以上になることは多々あり得る)



フィボナッチの取り方

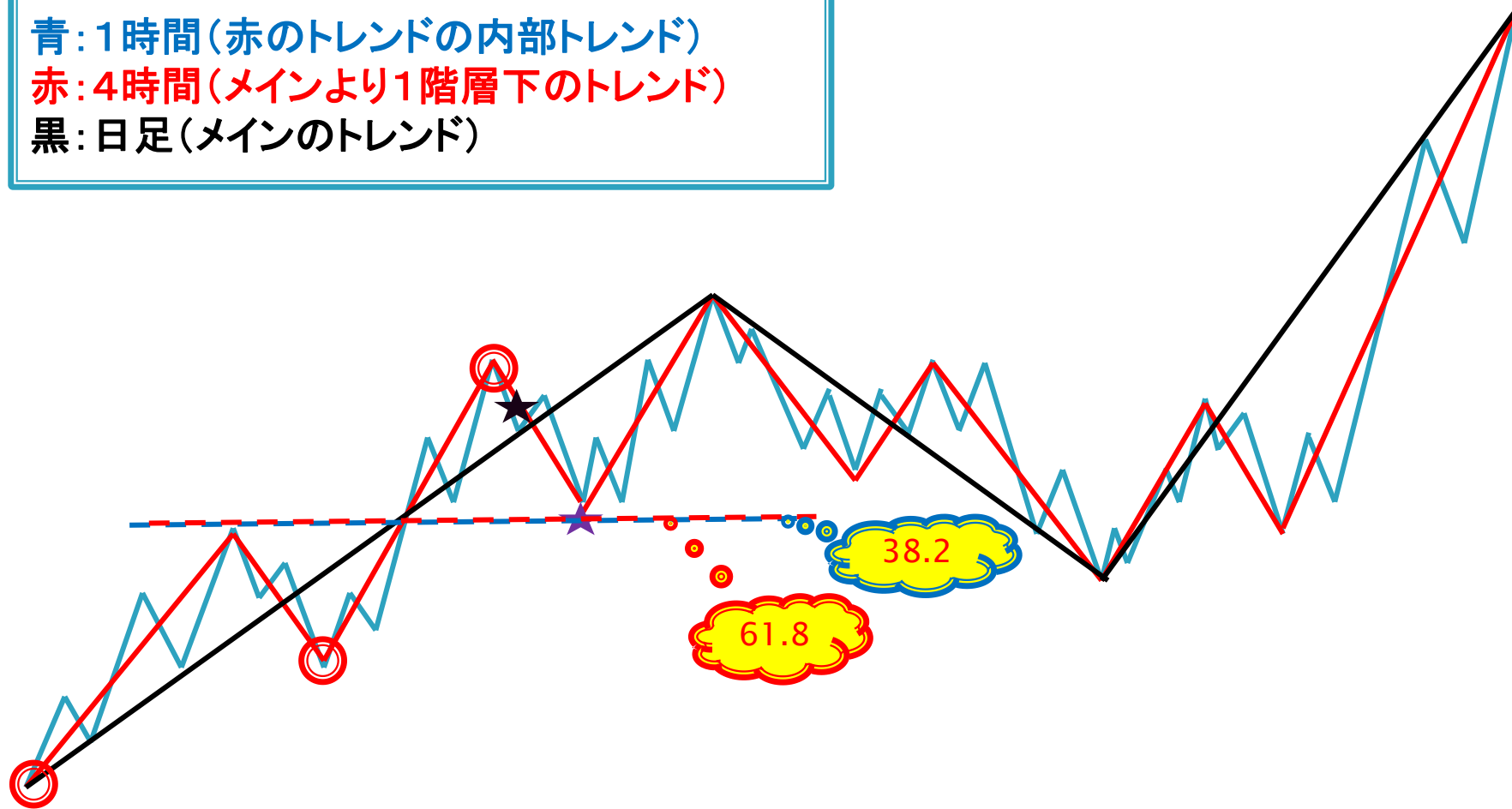
波動理論の構成（推進 / 調整）やフラクタル構造を知っているとどこを起点としたFIBを引かなければならないかを理解できるようになる

- ▶ 基本的には直近のワンスイングでFIBを引く
- ▶ 1階層大きな時間足での波動構成でFIBを引く

他の裏付け要素を見つけるために

フラクタル構造 (イメージ)

青: 1時間 (赤のトレンドの内部トレンド)
赤: 4時間 (メインより1階層下のトレンド)
黒: 日足 (メインのトレンド)



ヘッドアンドショルダーで、売り？
トレンドのはじまりや途中なので、仕掛けてもロスカットされてしまう

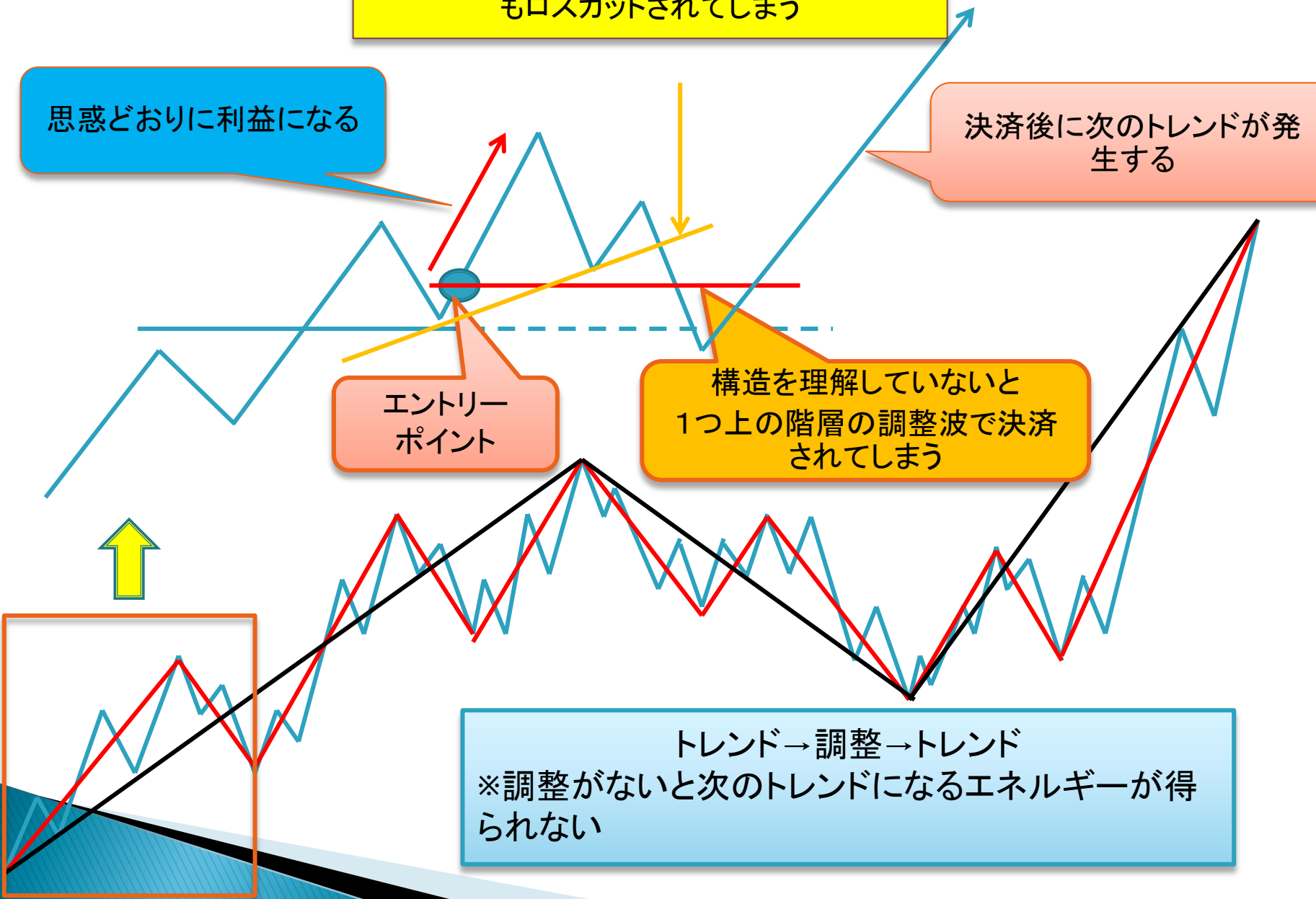
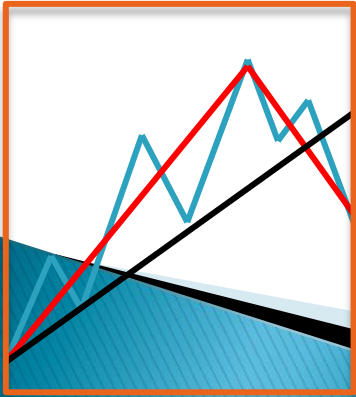
思惑どおりに利益になる

決済後に次のトレンドが発生する

エントリー
ポイント

構造を理解していないと
1つ上の階層の調整波で決済
されてしまう

トレンド→調整→トレンド
※調整がないと次のトレンドになるエネルギーが得られない



【サポレジのブレイク】

- ▶ この原理原則を有効に使った手法
 - First Strike
 - Break → Fuck (リトレース) → GO
- ◎ 大体の場合はサポレジをブレイクしても戻ってくる
(相場の本質)
- ◎ サポレジのブレイクしているローソク足では仕掛けない
: 反転する可能性 (高値 / 安値つかみ)
 - PB / EB で狙っているトレーダ (オレの PB / EB)
 - (サポレジとプライスアクションで勝ち組の思考へ)
- ◎ 戻りを待ってからのエントリーを心がける
(チャンスを待つ)

サポート&レジスタンス ～ブレイク時のPrice Action～



【まとめ/理解】精度の高いトレードポイント

①レンジブレイク

【サポレジのブレイク】First Strike/Break Fuck Go

※PB/EBなどのプライスアクションでエントリー

②トレンド反転

【サポレジのブレイク失敗】PB/EBで反転狙い

【トレンド転換】戻りのない相場でFIBトレード

※TRB(①/②両方に適用可能な有効な手法)

→トレンドライン、チャンネルライン、フラッグのブレイクなど相場が動くタイミングで仕掛けるので、ストレスなくトレードが出来る

マルチタイムフレーム分析

【相場環境】

～マルチタイムフレーム分析①～

- ▶ アップトレンド
- ▶ ダウントレンド
- ▶ レンジ(ノントренд)

日足、4時間、1時間、15分・・・

→それぞれ違うトレンドを持つ。

例) 4時間はアップトレンド、15分はダウントレンド

マルチタイムフレーム分析②

- ▶ **トレンドを分析して、大きな時間足でのトレンドに合わせる**
- ▶ **長期的と短期的トレンドの認識**
 - エッジのあるポイントでトレード
 - 長期でアップトレンドでも、短期で売りを狙えるポイントは仕掛ける
 - : ワイドオープンスペース
 - : 長期のダウがどこにあるかは認識が必要(適切な利確ポイント)
- ▶ **無理に相場分析を当てはめない**
 - 自分の都合に合わせないこと
 - シンプルに分析、チャンスを待つ(サポレジ、トレンド)

検証と記録

検証の有効性

- ▶ トレードルールによる検証
 - エッジの有効性の確認
 - マインドの形成
(自信、厳選したポイント、正しい判断)
 - 気づき(フィルター、決済)

トレード記録の付け方(工夫)

- ▶ チャートの印刷も有効だが、手書きでのイメージ
※波形、ローソク足、状況などを記録する
- ▶ 見方のイメージが残るので、応用が利く。
※両方あるとなお良い。

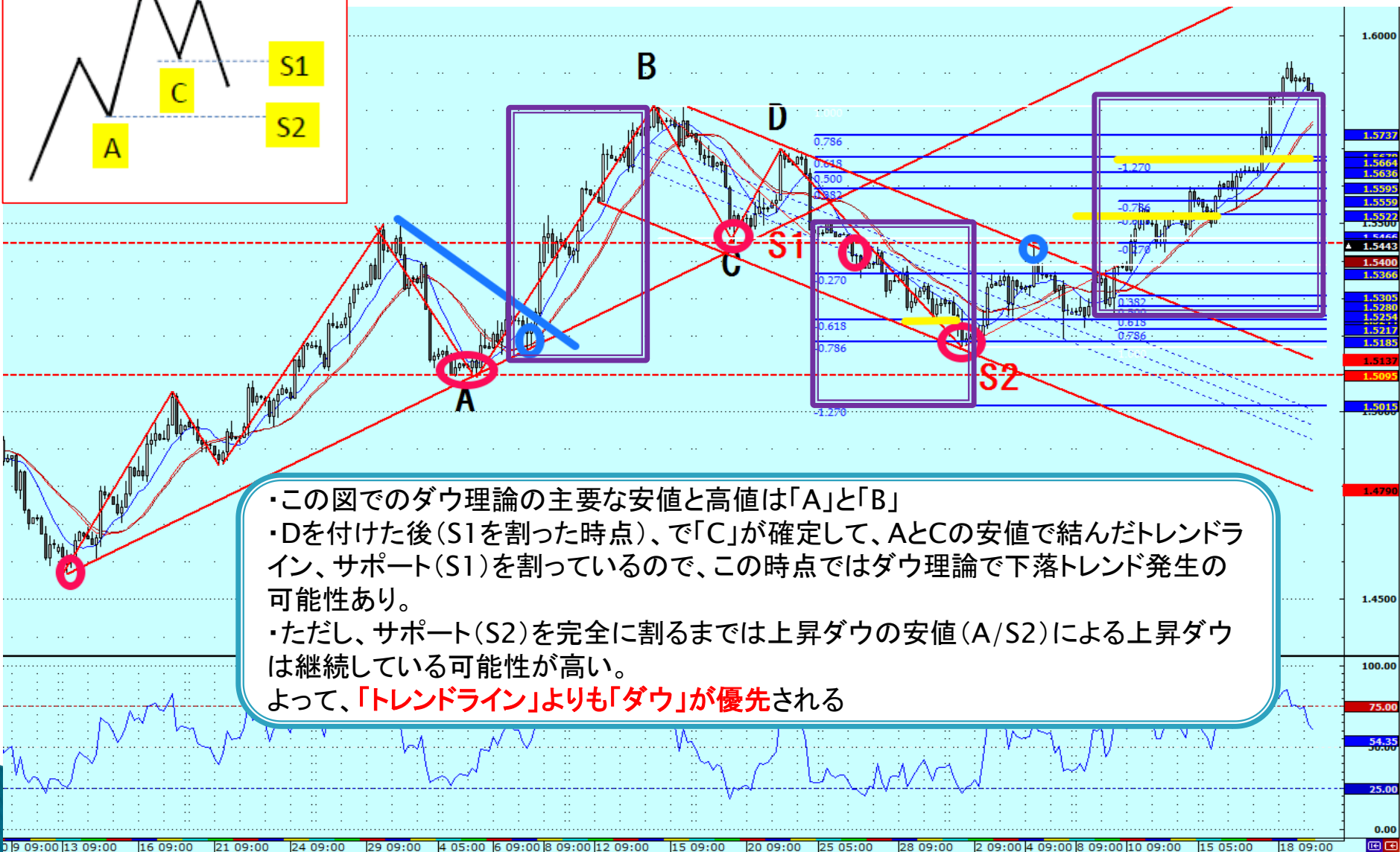
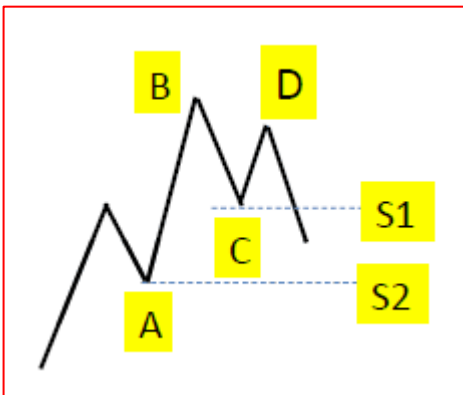
＜記憶に残すための3大要素＞

- ・見る
- ・聞く
- ・書く(欠落しやすい)

【相場の本質】

～トレードの全体イメージ～

トレンドラインとダウ理論



・この図でのダウ理論の主要な安値と高値は「A」と「B」
・Dを付けた後(S1を割った時点)、で「C」が確定して、AとCの安値で結んだトレンドライン、サポート(S1)を割っているなので、この時点ではダウ理論で下落トレンド発生の可能性あり。
・ただし、サポート(S2)を完全に割るまでは上昇ダウの安値(A/S2)による上昇ダウは継続している可能性が高い。
よって、「トレンドライン」よりも「ダウ」が優先される

【売買戦略】トレード・ポイント

▶ 2波の調整

→前のトレンドが継続している可能性が高いため、戻りで仕掛ける参加者は多い(レジスタンスはスイングの高値/安値)

▶ 3波のトレンド

→ストレスなく、1番利益が伸びる

※フラッグやサポレジでのPB/EBが出やすい

▶ 4波の押し目から5波狙い

→トレンド発生後の調整(フラッグや三角持合い)後のトレンドをとる場合(乗り遅れで、最後のひと山をとる場合)

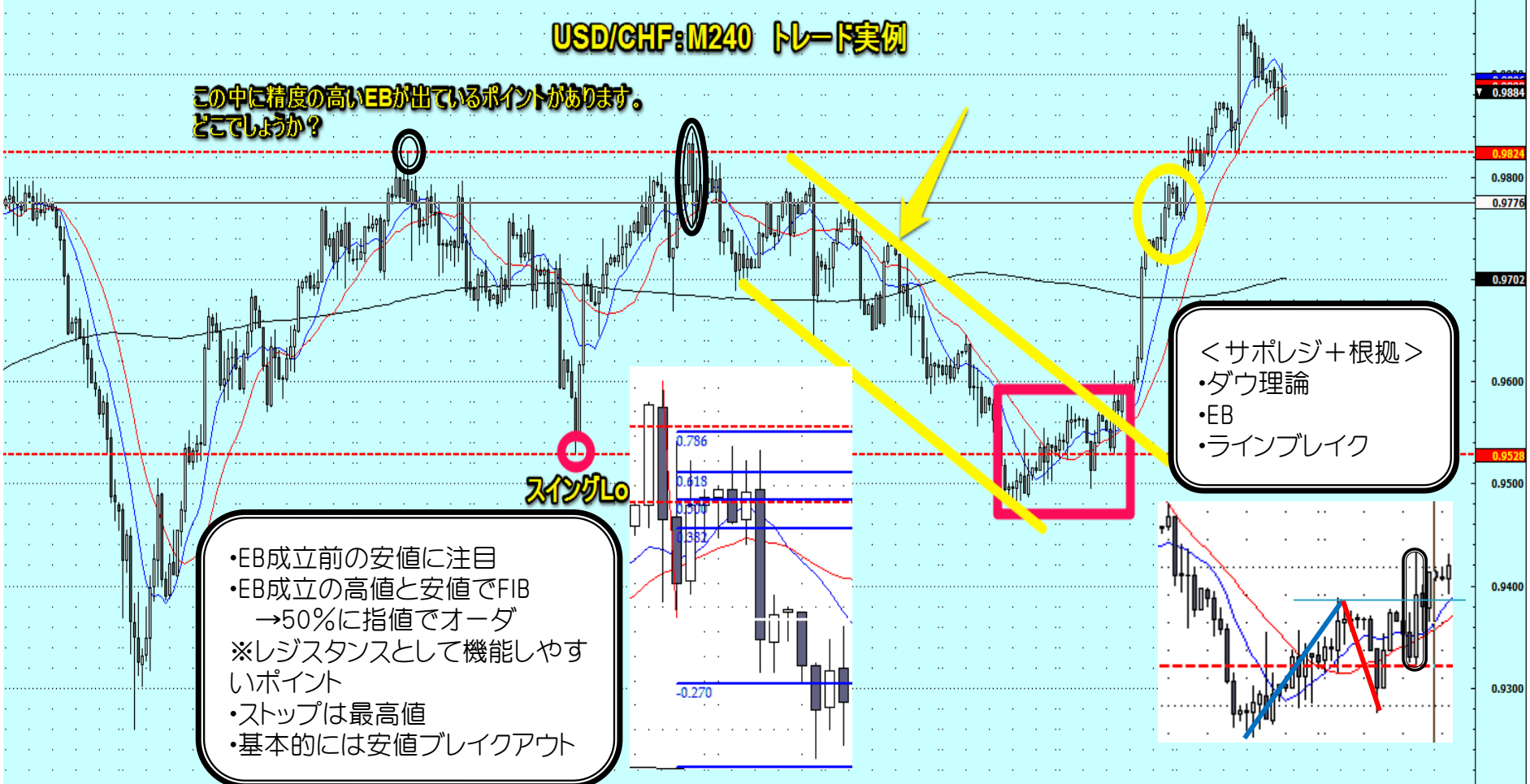
▶ 5波終了後の調整(a-b-c)

→戻りのない相場に適用する場面

【トレード実例 / モデルケース】
～サポレジでのプライスアクション～

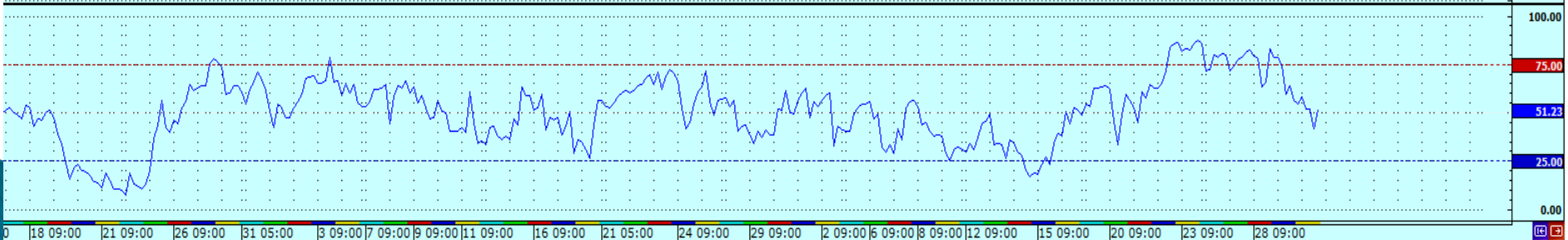
USD/CHF:M240 トレード実例

この中に精度の高いEBが出ているポイントがあります。
どこでしょうか？



- EB成立前の安値に注目
- EB成立の高値と安値でFIB
→50%に指値でオーダ
- ※レジスタンスとして機能しやすいポイント
- ストップは最高値
- 基本的には安値ブレイクアウト

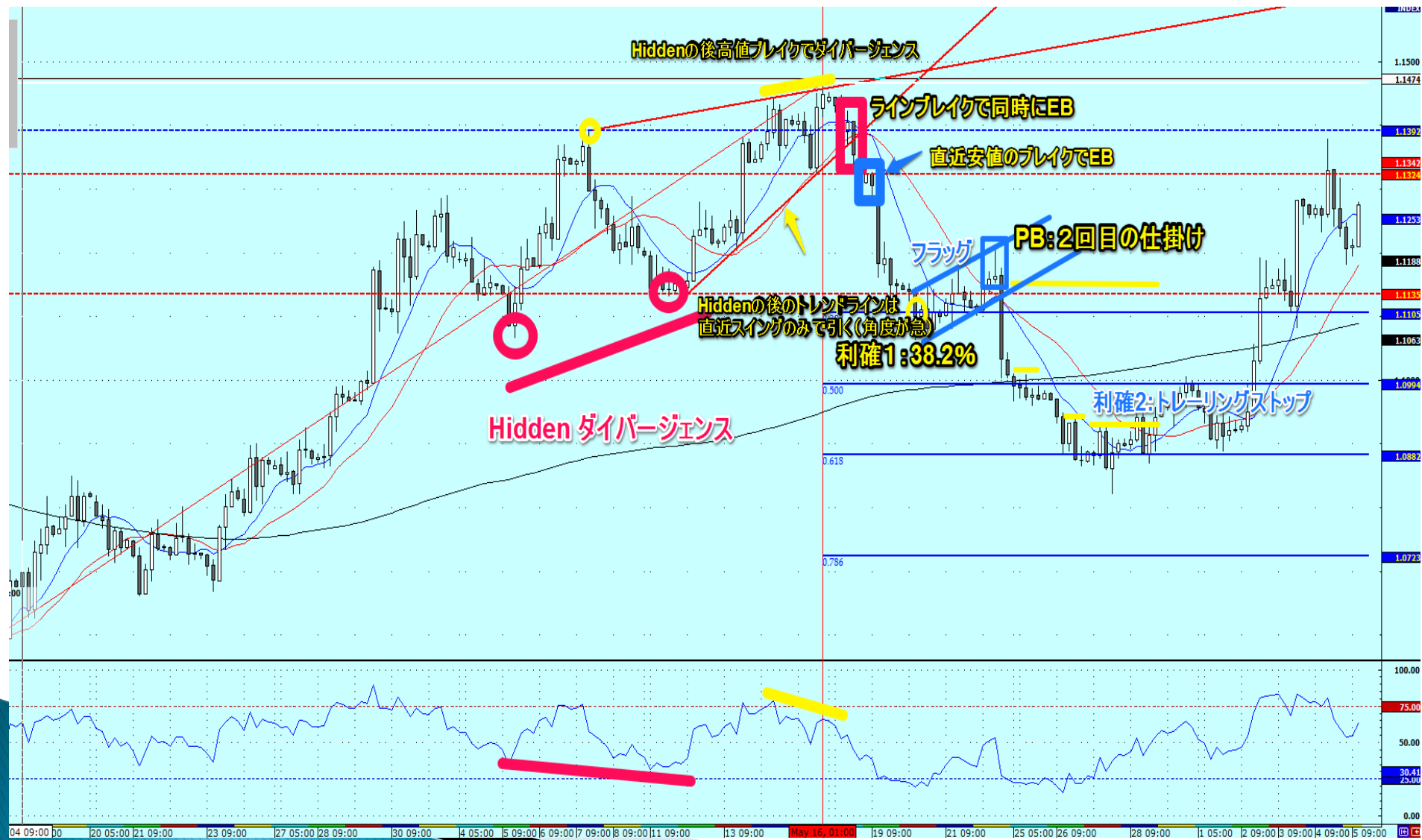
- ＜サポレジ+根拠＞
- ダウ理論
 - EB
 - ラインブレイク



チャートパターン(ウェッジ)



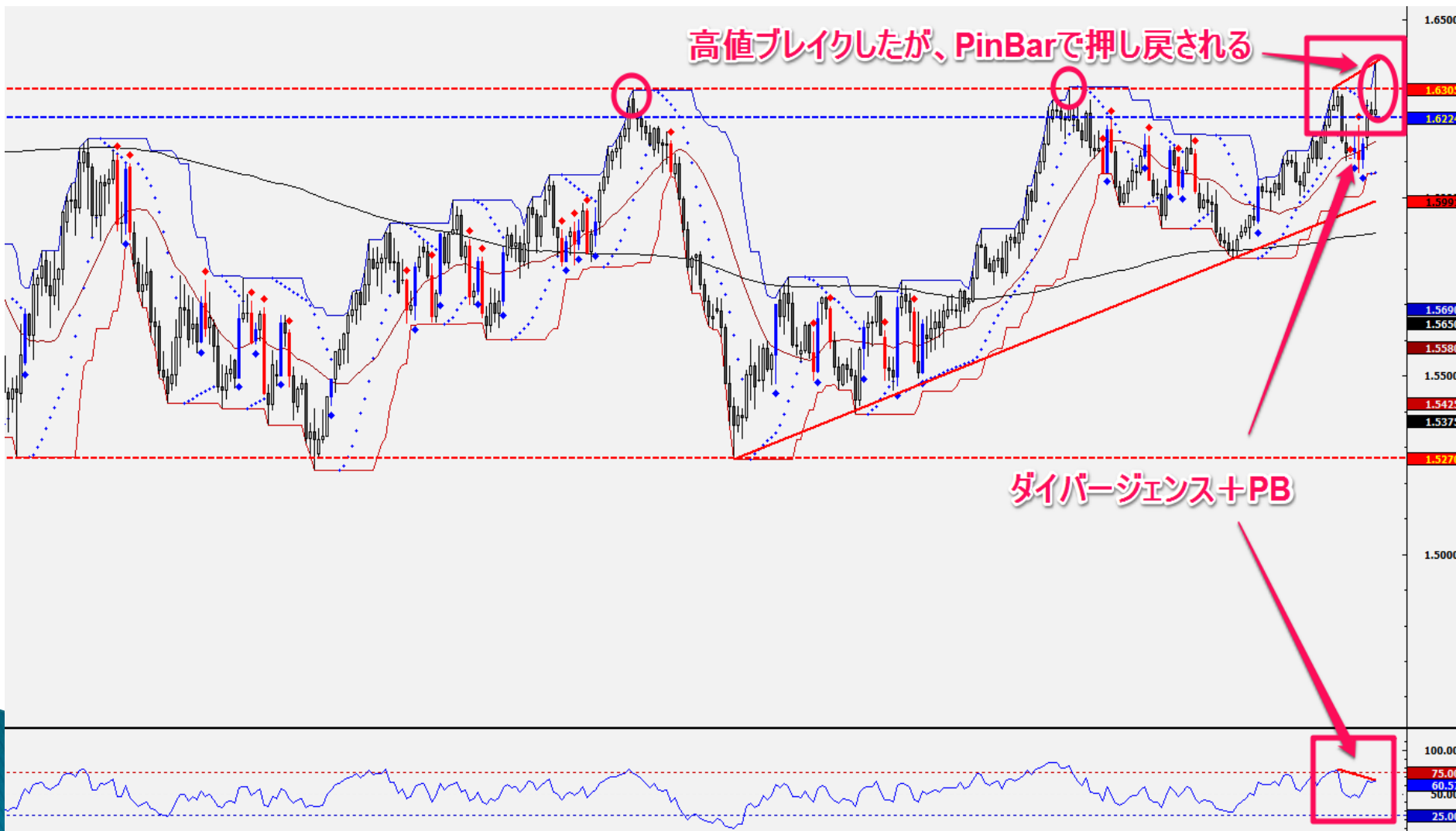
ウェッジ&ダイバージェンス



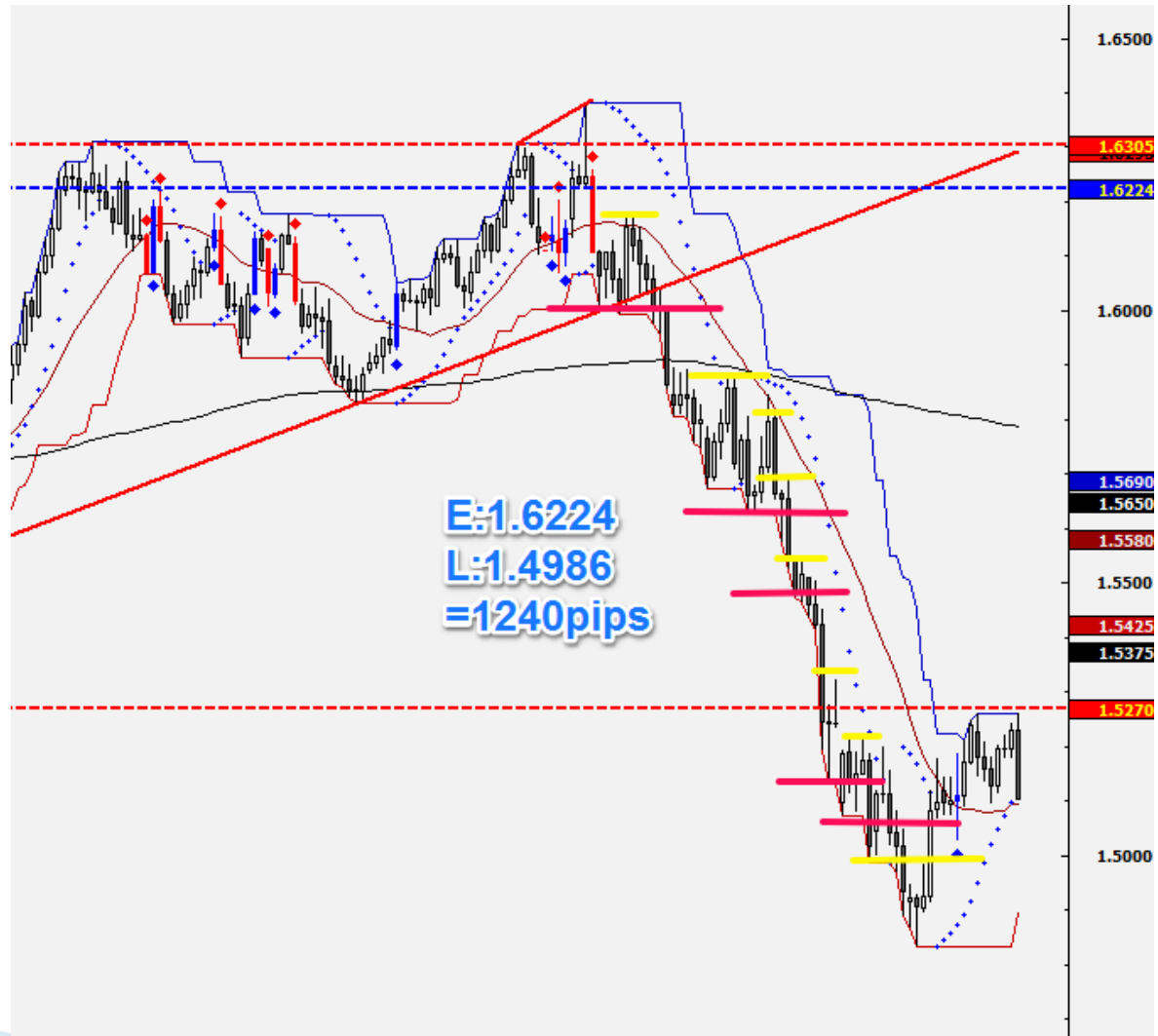
【Special Trade】オレのPin Bar

高値ブレイクしたが、PinBarで押し戻される

ダイバージェンス+PB



【Special Trade】オレのPin Bar ～その後～



PB+EB

意識されているレジスタンスでPB+EB

レジスタンスで上値を抑えられている

MA: Simple, 10
1.4087

1.4554
1.4449
1.4340
1.4039
1.4000
1.3940

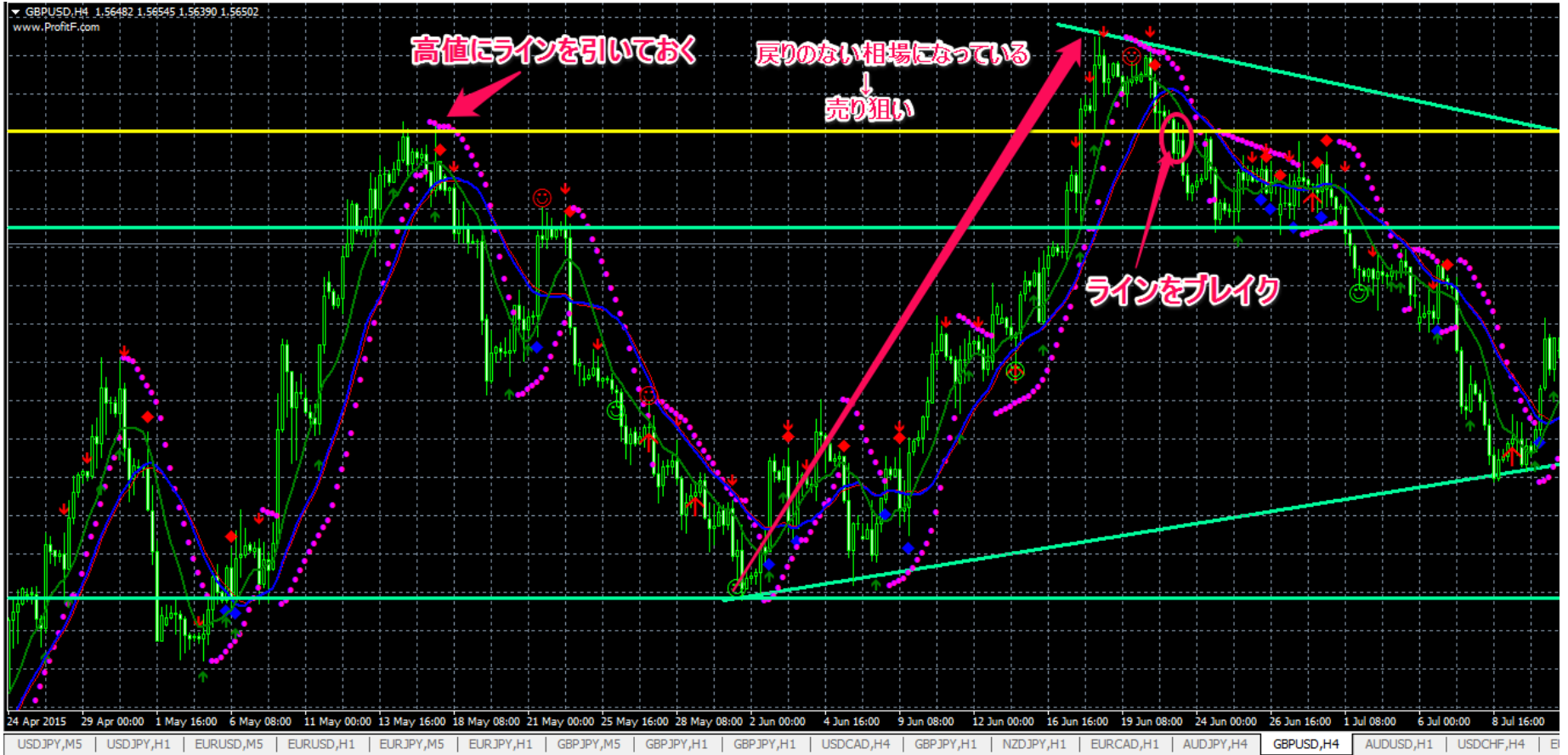
S
E

100.00
77.95
50.00
25.00
0.00

PB+EB(利確)



【システム紹介】LTS+Price Action



仕掛けポイント: 拡大(240→60) → First Strike/Break-Fuck-Go

